



新しい年度が始まりました。「みなさん、お元気ですか」「東中のみんな、元気かい」と、ついつい問いかけたくなってしまいました。例年より一足早くやってきた**春爛漫のこのよき日**。気もそぞろに東中校区をドライブしました。

つくしが丘の方を眺めると、圧巻の桜並木が手招きをしています。近くに車を止め、つくしが丘5丁目の堤(正式名称を知らずにすみません)を駆け上りました。家族連れが2組だけ。こんなに素敵な場所をみんな知らないのかなあ。一人占めできるなんて、と幸せな気持ちで桜の下に座ると、桜の花びらが吹雪のように一斉に舞いながら、東部地区の平野の方へと流れていきました。荘厳な音楽が奏でられているような風景。白い花びらが裏も表も見せながら、ひらひら、ひらひらと舞い踊っています。思わず「これ以上散らないで」と叫びたくなりましたが、それも一瞬のこと。あまりにも美しい散り際の風景に心をすべて奪われてしまいました。

しばらくしてから思いました。「これだ、この気持ちを入学式の校長式辞に込められたら最高だなあ」。

申し遅れましたが、今年度も東部中学校の校長を拝命いたしました石川雅春です。4年目になります。よろしく願いいたします。

この「校長室便り『青空』」は、保護者や地域の方々を対象に学校の様子や校長の思いを綴っていきます。毎日発行というわけにはいきませんが、読んでいただけるとありがたいです。「青空」は令和2年度からの累計で、No.331号からスタートさせていただきます。

会うは別れの始め。3月30日の人事異動に関わる新聞発表で、5名の先生が異動となりました。めぐり逢いの不思議を感じるのがこの時期です。

車に戻る道沿いで、つくしがぐんぐんと伸びているのに気づきました。たんぽぽもにっこりと笑っています。今日も青空です。